

平成28年度 第1回 和光市民文化センター運営委員会会議要録

平成28年9月1日(木)  
10時00分～11時40分  
和光市役所 602会議室

1 開 会

2 挨拶

理事長 ご多用中のご出席感謝致します。当委員会は、各委員さんの、それぞれ立場から文化センター事業に関してご意見を伺いし、ご協議をしていただくことが趣旨でございます。サンアゼリアは音楽を聴くには素晴らしいホールですが、その他の演目、例えば落語などの場合、必ずしも聞き取りやすいとはいえない点があります。そのため、8月に実際に落語家をお呼びして音響の調査を行ったところです。スピーカーやピンマイク等、技術的な部分で改善を図り、最善の方法を協議しています。まだ、結論は出ていませんが、皆様に楽しい公演を提供できるよう検討していきます。公社はこういう事もやっている、という一つの例として紹介させていただきました。今日は有意義な会になればと思っていますので、皆様のご協力お願い致します。

※理事長は所用により退席

館長 本年4月より常務理事及び文化センター館長を拝命しております。3月までは市役所に勤務しておりました。初めての運営委員会、皆様の色々な意見を伺いながら今後の運営に活かしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

3 議 題

(1) 平成27年度事業報告

※館長より事業報告資料に沿って説明

(2) ア 市民参加型の事業について(交流、連携、協働)

事務局 「市民、地域との交流、連携、協働」は、公社の大きな目的の一つとなっている。市内の小中学校等に対するアウトリーチ事業や音楽クリニックは、継続的に実施し、加えて今年度は「まちなかコンサート」として、和光市駅前広場での「清水夏生ダンスパフォーマンス」と下新倉小学校での「音楽コンサート」とすでに2事業を実施し、文化センターホール内での事業だけではなく、外に向かっての事業も積極的に発信しているところだ。また、前回ご意見いただいた図書館でのコンサートという提案については、この11月に下新倉図書館のオープニングイベントとして、当公社が企画した事業を実施する。

今後もアウトリーチ型企画を積極的企画し、レストランやお寺などでの実施も視野に入れ検討したい。ホールにおいては、自主事業時のホワイエの有効活用、展示室の利用促進なども交流、連携、協働に絡めて検討している。8月の「日本歌曲歌唱

	<p>コンクール」の際、和光白子文化の会様とのご協力にて、ホワイエに清水かつらのレコード展示を行っていただいた。このように、地域の団体や店舗と協力して、自主事業も付加価値のあるものにしていきたい。</p> <p>この他、地域の大学、十文字学園女子大学とも、相互協力協定を結ぶ運びとなっている。また、毎年、インターンシップ実習として継続的に受け入れを行っている、跡見学園女子大学とも引き続き、協力のもと、積極的に地域連携活動を実施していく。今後、どのような方向性が望ましいか、どのような交流、連携、協働の方法があるか、皆様のご意見をいただきたい。</p>
委員	前年度より和光市民まつりの実行委員に公社に加わっていただき、広報宣伝については厚みが出た。今後とも是非広報部会に加わっていただきたい。
事務局	公社としても今後とも市と連携を取っていきたい。今年も引き続き市民まつりにブースを出して参加する予定となっている。
委員	オペラ公演では東邦音大と連携している。今度の12月公演「ラ・ボエーム」では合唱他合わせて50人が参加している。和光出身で東邦音大の方もいる。今まさに協働してオペラを作り始めている。
委員	先日の展示室の切り絵展について、さほど興味はなかったが見ているうちに素晴らしい作品の数々に引きこまれた。招待を受けた米陸軍音楽公演も似たような感じを受けた。触れることで興味を抱くことがあるので、ホワイエでの展示などを考えられないか。
事務局	切り絵展は大ホール(映画上映)から展示室へという流れを作る事が出来た。ホワイエでおこなう場合は公演内容と展示の関連性を考える必要がある。
委員	プチ文化村で紹介した切り絵展は盛況に終わり光栄に思う。現在、ボランティアで埼玉病院にて和光市写真家 足立恵一氏も含めた展示をおこなっており好評を得ている。小ホールで開催している埼玉病院の医療公開講座の際にホワイエで展示をおこなうことなどできないか。
事務局	貸館事業になるので主催者とのご相談になるかと思う。ちなみに展示棟の利用も以前に比べ利用率が高くなっている状況。展示棟についても減免助成制度(大ホール・小ホール)について検討していきたい。
委員	ホワイエでの清水かつらのレコード展示の流れで提案したい。再来年は童謡100年の年に当たる。(大正7年「赤い鳥」発行から100年)ちょうどホールも開館25周年を迎える年、また隔年開催の日本歌曲歌唱コンクール開催年になるので、「音楽のまち」として市民参加型の童謡祭を立ち上げてはどうか。オリンピックを含めて英語版などもいいかもしれない。
事務局	開館25周年、また2020年オリンピックに向けて国際的文化をどう発信していくかは公社の課題。市の協働事業提案制度の補助金も視野に入れていきたい。
委員	小ホールで公演をおこなっている新座の里神楽(石山社中)についてだが、里神楽

	<p>は本来屋外でおこなう物であるため、ホール外で薪能のようなことができないか。消防法が問題になるのであれば北陸のイベント等で実績のあるLEDメーカーが新座にある。</p>
事務局	<p>石山社中については減免助成制度で公演をおこなっていただいている。ただ、新座で活動しているものを和光で助成しておこなうのか、という点で今後精査が必要だと感じている。前回の公演を見ると一般の方のご来場はまだ少ないように感じた。近隣市との地域連携として検証をしながら今後について考えていきたい。</p>
委員	<p>東日本大震災の際に大船渡市から小通鹿踊りを招聘して公演をおこなった。その時は里神楽を呼んだのか。新座に限らず和光市近郊の郷土芸能イベントをおこなうのはどうか。和光市以外の団体を取り上げる問題をクリアできる。伝統芸能は集客が難しいので、入場者数を増やすのが課題だ。</p>
事務局	<p>公社は指定管理者として一年の中でバランスを考えながら事業をおこなっている。文団連から近隣四市の伝統芸能公演という提案になれば動きやすいし、市も関わってもらえる。</p>
委員	<p>文団連ならば四市あるが、なかなかそういう話題にならないが、確かに文団連から出せば良いと思う。</p>
委員	<p>ふじみ野市に比べれば、和光は事業を積極的におこなっている。それぞれの立場から出たものを取り上げるとなると優先順位も難しい。団体から提案を受けて事業をおこなうという形がいいのではないか。</p>
<p>イ 公社事業に対するボランティアの関わりについて</p>	
事務局	<p>現在、公社としては、市民との連携という点も含め、ボランティアの大きな柱として、友の会ダイレクトメール発送作業で多大なご協力いただいている。また、市内自治会様にご協力いただき、93の自治会に「サンアゼリア催し物案内」の回覧、配布をお願いしているところだ。このような広報宣伝に関する内容もボランティアの一つであると考えている。</p> <p>前回の運営委員会では、主に「ホール案内のボランティア」について協議させていただき、ボランティアの組織化や人員管理の難しさなどについて、ご意見いただいた。現在では、十文字学園女子大学や、跡見学園女子大学の学生さんにも、地域連携事業の一環として、公演の事前準備段階から、公演当日の受付、案内等の業務についてご協力いただいている。今回は、ホール案内に関する事だけでなく、公社事業に対してのボランティアの関わり方として、どんな可能性があるか、どういう方法があるかなど、様々な角度から皆様のお知恵をいただきたい。</p>
委員	<p>ボランティアを下働きにしまうとモチベーションが下がってしまう。頭を使う仕事を、関心を活かして動いてもらう必要がある。DM封入だけだと魅力がない。市民参加を考えるなら「私のサンアゼリア」にしないとボランティアも続かない。ボランティアマネジメントは大変ではあるが、自然とボランティアが動き出すよう</p>

<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>になる。</p> <p>ボランティアの定義の問題があるが協働意識を大切にベースをしっかりとしていきたい。ボランティアの皆様には音響チェックなどにもご協力をいただいている。しっかりと目的の中で位置づけておこなっていききたい。</p> <p>会場案内でボランティアに来ていただけるのなら有り難い。オペラ彩では慶應志木高校の学生などにホワイエスタッフを頼むが座席の案内までは難しい。草加ではボランティアスタッフが着物を着ている公演があった。みんなで一緒にやっているんだという意識。サンアゼリアは温かいホールだと言われる。是非育成をしていって欲しい。</p> <p>ボランティアがホールサービスのみではモチベーションが上がらない。十文字学園女子大学や跡見女子大学のアートマネジメント学科の学生達の中に今後ホール運営に関わりたい学生もいるはず。低予算でいいと思うので学生企画のコンサートを開催し、ホールサービスも学生がおこなうなどの企画をやってみてはどうか。</p> <p>ちょうど本日、十文字学園女子大学と提携をするので、今後検討していきたい。</p>
<p>ウ サンアゼリア友の会特典について</p>	
<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>サンアゼリア友の会は、サンアゼリアのファンとして、とても重要なお客様だ。今年度、今現在のサンアゼリア友の会の状況としては、会員数が<b>569名【団体44名／個人525名】</b>、(毎年、年度末に向けて増加する傾向)となっている。今後もなるべく多くの方々にサンアゼリアの会員になっていただくためには、魅力的な事業を提供していくという事はもちろんのことだが、「魅力的な会員特典」というものもポイントの一つだと考える。</p> <p>※「友の会申込み書」に記載のある「友の会の特典」について説明。</p> <p>委員の皆様も、様々なジャンルの会員やファンクラブに入っているかと思うので、もし何かこんな特典があると嬉しい、こういう特典を聞いた事があるなど、ざっくばらんにご意見をいただきたい。</p> <p>会員情報について、ファンの意見を載せたり、双方向的な内容にしてはどうか。アットホームであったり、帰属意識を持たせるような形だ。特典は現状充分あるかと思うので、自分だけのために送られてくるという意識を持たせるのがいい。</p> <p>会員を増やすことは大事な事だが、自分の好みの物がたくさんないとなかなか会員にはならない。1つのホール、12か月の中で全ての人のニーズには応えられない難しさがある。特典は今のままでも良いと思う。特典を増やせば会員増に繋がるという訳ではない。</p> <p>会員を単純に増やそうとすれば無料化などの方法も考えられるが会員料収入が年間で約160万。その分の歳入減をどうするかなど考える必要がある。有料である意味を考えなければならない。</p> <p>会員が増えているのは素晴らしいこと。増やす努力を継続し、公的機関として還元</p>

委員	していくことが大切なのは。
事務局	特典よりも自分の好きなものがやっている事かどうかが基準になる。落語でも感じるが生の公演はやはり違う。良いものをしていけば会員になる。
事務局	サンアゼリアへの応援の意味で会員になっていただいている方がいるのは間違いはない。会員の意義や料金も含めて今後精査していく必要があると思う。
事務局	本会議中に限らず、何かアイデアがあれば、是非事務局まで直接ご意見をいただきたい。
(3) その他	
事務局	委員様のご意見あれば、どんなことでも構わないのでご意見いただきたい。
委員	理事長の話にもあったが、落語公演は聞き取りにくかった。大物落語家が来たのに勿体ないと思った。大ホールの音響は検討している段階か、反響板が影響しているのではないか。
事務局	先に行った音響チェックを元に、現在検証中だ。大ホールはクラシック音楽を演奏する場合は音の拡がり素晴らしいホールだが、落語のような公演だとホールの構造上どうしても難しい部分はある。
事務局	非売席を作る等、お金を払ってきていただいた方が楽しめるようにしていきたい。公社がおこなっていることの情報開示が必要だという考えの下、冒頭の理事長の音響チェックについての発言になる。気になる点があれば言って欲しい。
委員	音響の改善ができると有り難い。SWAN 童謡の会の公演でも出演者が早口であるため特に二階席から聴こえないという苦情をもらった。
委員	音響スタッフはどこに居てもいい音で聴こえるようにするのが仕事だ。オペラ彩では音響の専門スタッフが勉強会を受けている。ある年に二階席の音響が聴こえづらいというご意見があったが、翌年には改善され、苦情は全くなくなった。公社も音響スタッフとよく連携すると良い。
委員	8月の米陸軍音楽公演では音が強すぎてボーカルが良く聴こえなかったのが残念だった。
事務局	米陸軍音楽公演については機材が米軍の持込機材であり、大ホールのキャパに見合わないものだった可能性があり、また、音響スタッフもアメリカ人であったため、音の好み異なる可能性がある。
委員	落語公演はそもそも大ホールのような規模ではおこなわないものだ。また、スピーカーで音を拡声するという性質のジャンルでもない。音響そのものの改善は費用も相当かかるはず。小ホールで開催するなど使い分けをした方が良いのではないかと。ホールの特性に合ったものをやるのが良いのでは。
委員	よしもと等の漫才と落語は音響が違うのか。
事務局	マイク自体が違う。落語は、落語家の声質、早口などに影響される所が大きい。
委員	11月3日に下新倉図書館のオープニングイベントをおこなうとの事だが、例えば

<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>図書館の中に文化振興公社のブースを作って、過去の公演のアーカイブや自主公演チラシ、市民のおすすめ公演などを紹介できないか。</p> <p>図書館については和光市北部の文化拠点として考えている。指定管理者としての立場があるので確約はできないが、所管の生涯学習課との相談していきたい。年数回アウトリーチ的にイベントをおこなえればと考えている。</p> <p>他の会館で行っている事に刺激を受け、自分達の事業に活かすという事が大事だ。オペラ彩では高校生特別料金2,000円を設定しているが、ある団体はこれを取り入れ満席になったようだ。今、和光は熱い視線で見て貰っているので、携わる人たちの心意気が大切だ。</p>
<p>4 閉 会</p>	
<p>常務理事</p>	<p>長時間に渡って委員様それぞれの立場からご意見をありがとうございました。私も4月から新しい公社を目指している。頂いた意見をすぐ出来る事は活かして取り組み、すぐ出来ない事は内部で検証していく。是非、文化振興公社にも訪れていただきたい。</p> <p>※議題が全て終了し、他に意見が出ないことから、常務理事による閉会の挨拶後散会</p>